

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和3年度分)

施設名 松江市精神障害者地域生活支援センター(アクティヴきたほり)
 指定管理者 特定非営利活動法人こころ
 担当課 障がい者福祉課
 指定期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

1. 総合評価

市	B	【優れていると評価した点】 ・コロナ禍のなかで、利用者のニーズ(自分の居場所、相談希望など)と感染予防対策両方のバランスを取りながら地域活動支援センターの運営、相談支援を継続できた。 【評価できない、または改善すべき点】 ・コロナ禍ということもあり、各種プログラム参加者が減少傾向にある。継続して利用者が参加しやすいようプログラムの内容などを工夫し、利用者の社会参加の支援に努めてもらいたい。
---	---	--

2. 施設利用の増減について

総括	R1年度までは利用者数は順調に増加していたが、コロナ禍の影響を受け、イベントなどを中止したため、利用者数がR2年度より減少している。 精神障がいの特性として、コロナの影響で不安になりやすい面もあるため、コロナの沈静までは利用が低調になりやすいことは、やむを得ない。
----	--

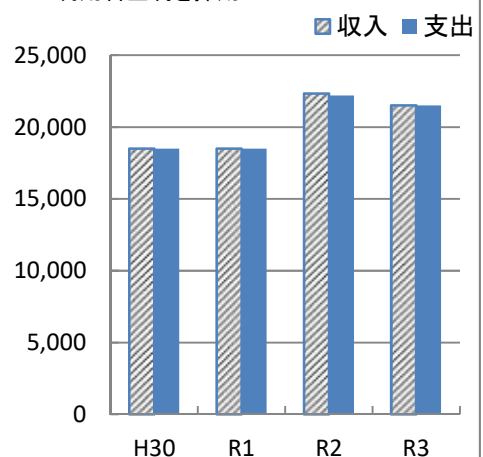
(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度	H30	R1	R2	R3
収入	18,500	18,500	22,331	21,497
うち指定管理料	18,500	18,500	21,046	21,200
うち利用料	0	0	0	0
支出	18,500	18,500	22,194	21,497
差引	0	0	137	0

上記以外の市の収入、支出

市の収入	収入(使用料)	0	0	0	0
市の支出	支出	19,786	19,255	21,750	21,351
	うち市の修繕費	1,188	443	550	0

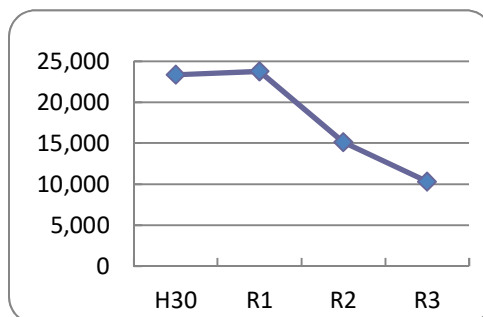
※利用料金制を採用



(2) 利用者の推移

(人)

H30	R1	R2	R3
23,342	23,765	15,150	10,323



(3) 利用者アンケート

主な意見	
	・行事(バーベキュー、クリスマス会など)はありますか。 ・セルフ喫茶を再開してほしい(コロナ感染症対策のため休止中)。 ・電話は以前よりつながりやすくなったように感じる。 ・電話のつながりにくさは変わらないように思う。

3. 自主事業

総括	「松江市精神障がい者家族会協議会」の事務受託し、家族、関係機関と事業活動を行った。
実施状況	コロナの影響により、開催を中止した事業もあるが、家族や関係機関を対象としたSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)や構成委員によるWRAP(元気回復行動プラン)を開催した。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	B
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	B
広報活動	B
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	A
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A
清掃業務	B
機械設備等の保守点検	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	B
松江市への報告	B
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	B
備品の管理	B